

# 美和ダム再開発湖内堆砂対策施設モニタリング委員会（第8回）

## 議事要旨

日 時：令和3年2月25日（木） 10:00～12:15

場 所：WEB会議

### 【議事】

#### 1. 議事

- 1) 第7回委員会での指摘事項と対応方針
- 2) これまでの経緯と工事の進捗状況
- 3) 令和2年度のモニタリング調査結果
- 4) モニタリング調査計画

#### 2. 今後の予定

### 【議事要旨】

#### 1. 第7回委員会での指摘事項と対応方針

事務局説明 ■ 第7回の指摘事項とその対応について説明

主な意見等 ● 意見なし

#### 2. これまでの経緯と工事の進捗状況

事務局説明 ■ これまでの委員会およびモニタリング調査の概要と、ストックヤード施設工事の進捗状況について説明した

主な意見等 ● 可能であれば、土砂を含まない状態で通水試験を実施しておくことが望ましい

● スtockヤードの操作方法はできるだけ簡単にすること

● 大規模洪水時には流木が大量に流入する可能性がある、ストックヤード、バイパス運用にリスクがあることを理解しておくこと。運用しながら必要に応じて対策していくことでよい。

● スtockヤード取水口に取り付けたカメラの映像から流木の挙動を確認できる。すべてを予測することは難しいので、映像記録を蓄積していくことが重要

## 2.1 令和2年度のモニタリング調査結果 物理環境

- 事務局説明** ■ 令和2年度に実施したモニタリング調査結果について説明した
- 主な意見等** ● 各地点の R2.7.1 における SS 最大値の平面分布を見ると、上流よりも殿島橋や竜東橋が高くなっているため、その原因を考察すること
- SS だけでなく、濁度についても p21 と同様に平面図を作成したほうが良い。また、R2.7.7 のようにバイパス運用を実施していない洪水期間でも採水した、データがあると良い。
  - 今回の出水でストックヤードを運用したと想定して、SS がどれだけ上昇するかシミュレーションをすると良い
  - p11 の水面高の変動を見ると、4~5k の水面が低下傾向にあるが、これはどういう理由からか？ストックヤードの運用とは関係ない話であるが、河川管理上も河床高の変化は今後も見ていく必要がある。
  - p14 粒径分布の経年変化を見ると、R1.10 出水でアーマーコートが破壊されたが、今年度の規模の出水では、再び細粒土砂が流失してアーマー化が始まっていると考えられる。ストックヤード運用後にどのように河床材料が変動していくか注視すること

## 2.2 令和2年度のモニタリング調査結果 生物環境

- 事務局説明** ■ 令和2年度に実施したモニタリング調査結果について説明した
- 主な意見等** ● 出水後における付着藻類回復傾向については、連続観測している濁度の長期の変動と併せて分析すること。ストックヤード運用後は濁度が高い状態が長期化し、藻類の成長にも影響を及ぼす可能性がある
- 魚類と下位の生物の関係については、餌資源の量よりも生息環境がより大きく影響するということか？
  - 魚類は短期間の結果から評価することは難しいので、季節的、長期的に見てほしい。長期的な調査の追加も検討して欲しい
  - 上位の魚類などは分かりにくいですが、基盤となる付着藻類と濁度の関係は分かり易いと思われる。ストックヤード運用により濁りが長期化するとクロロフィル a の回復が遅くなる可能性があるためこの点に着目するとよい
  - 連続データとしての濁度とクロロフィル a 量の関係を時系列で繋げて考察するとよい。

## 3. モニタリング計画

- 事務局説明** ■ 令和3年度以降の施設モニタリング調査及び環境モニタリング調査の計画について説明した
- 主な意見等** ● スtockヤード排砂ゲートからバイパスゲートの流入画像を記録するか？流れの状況を把握することが重要

- バイパストンネル呑口におけるストックヤードからの濁水の流入状況について確認することが重要である。既設の CCTV やレーザー測距システムのハイビジョンカメラの映像記録を、上書きされる前に保存すること。画像から濁度を分析できる技術もあり、映像記録は特に重要と認識すること
- 出水期だけでなく濁度データの年間の推移を経年的に整理するとよい。生物への影響を分析する上で重要である
- 小出水で下流の河道内の濁度が上がるかどうかを見るとよい
- 出水毎および年間の土砂収支を示してほしい
- 魚類忌避行動調査地点の位置図を示してほしい。前回調査地点との違いも影響すると思われるので、予め調査地点が確認できるとよい。

#### 4. 今後の予定

事務局説明 ■ スtockヤード施設は今年度 R3 年 3 月末に完成し、4 月から土砂の搬入を行う予定であることを報告した。

主な意見等 ● コロナ禍ではあるが、現地確認をぜひ企画してほしい

以上